

背景

熊本地震から10年を迎えるにあたり、市民アンケートにおいて、記憶や教訓が年々薄れてきているとの結果になっており、震災の記憶や教訓が市民の間で風化しつつある。
特に震源地に近く甚大な被害を受けた熊本市東区において、災害の記憶の風化や記録の紛失を防ぎ、災害への危機感を持ってもらうため、地域住民の体験を記録した映像の「語り部」による証言をアーカイブ資料として制作するもの。

内容

熊本地震発災から10年経った今思うことや熊本地震後からの取組を熊本地震を経験していない若手職員がインタビューし、記録としてまとめ、ドキュメンタリー映画を制作する。
タイトルの「揺れ」へ、地震による地面や住居の「揺れ」はもちろんだが、恐怖を感じた心の「揺れ」やこの先の生活設計等の不安による人生の「揺れ」など被災した皆さんが感じた様々な「揺れ」を表現した。
インタビューは、主に、熊本地震の際、様々な活動をしていただいた民生委員や、避難誘導や避難所運営の支援などに取り組まれた地域住民の方をお願いする予定。区内地域の方々を語り部として、当時の活動や体験、講じた対策などのつらかった記憶も呼び起こしていただき、それをドキュメンタリーとして記録化する。
地震当時のことや地震から10年たった現状の体験・活動などに、写真・資料などを交え撮影し上映を予定。
上映では、熊本地震当時の身近な様子をコミカルに描かれた映画「いっちょんすかん」(監督・脚本:行定勲、製作:2018年)を同時上映し、未知・未体験の世代にも知っていただく。

ねらい

- ✓ 熊本地震の被災体験や対応経験の記憶を呼び戻していただく
- ✓ 今後の防災活動を考え直すきっかけや普段からの災害に備える意識の向上に繋げていただく
- ✓ 観覧者同士で未来へ貴重な体験や教訓など当時を振り返ってもらい、家族や地域の次世代へ継承してもらう
- ✓ 風化を防止しつつ、「再び被災した時にどうする!？」に備えてもらう
- ✓ 地域の防災取組など、継続やアップデートを促す



予定

令和7年度 取材・撮影
令和8年度 上映会
※ 会場は健軍文化ホールや区内小学校体育館で検討予定



たぁ～いかな大変だったばいた!○○ばいつも備えとかなん!!
あぎゃんすっとよかったばってんなぁ..
早よから話し合いばしとかなんだったぁ!?

「当時(10年前)の自分への一言メッセージ」なども...